

第2次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画

奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会委員からの意見等への対応口

【平成29年度協働事業】

事業No.	事業名	H29年度担当課名	協働の形態	方向性	行政の評価点	協働相手の評価点	総合点	総合評価	審議会委員からの意見等	今後の取組方針等
1	自治連合会等活動推進	地域活動推進課 他	補助・助成	継続	33	35	68	B	・特記事項にある「地区調整員の支援に頼らない住民自治を促す」という表現については見直しが必要ではないか。	特記事項としてそぐわない表現のため削除します。
									・自治連合会の活動推進において、情報公開は重要事項であり、評価項目「公開」(評価3)について、改善が必要である。	今後、改善に努めます。
6	地域で決める学校予算事業(学校支援地域本部事業)	地域教育課	委託	継続	41	38	79	A	・活動が見えにくく、事業について市民に分かりやすく情報公開する必要がある。	事業の内容や意義を市民に理解していただくことは重要だと考えております。活動周知のためにSNSや広報誌等による広報活動を行っておりますが、更なる工夫・取組強化を行い、市民への周知を図ってまいります。
									・人材確保に繋がる方策を立て、継続実施を望む。	地域人材の高齢化・固定化が多く校区でみられます。新たな地域人材を発掘するために、広報活動の強化や、地域コーディネーターの育成を目的とした研修回数を増やす等、多様な地域人材を発掘するための工夫をすすめてまいりたいと考えております。
7	学校規模適正化検討協議会との協議	教育政策課	事業協力	継続	35	-	70	B	・協働相手の評価、意見を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	学校規模適正化を進める上で、対象校区の保護者や地域住民と意見交換する場として、「検討協議会」を立ち上げていただくことを基本としている。「検討協議会」は学校規模適正化の実施時期を示し、具体的な協議を進める段階で立ち上げていただくものであるが、平成29年度は、統合再編案(実施時期を除く)を保護者や地域に説明していく段階であったため、「検討協議会」を立ち上げていただく時期ではなかった。今後の対応としては、対象校区となる統合再編の実施時期を示したので、協働の土台となる「検討協議会」を立ち上げていただくよう、まずは、対象地域へ説明し、統合再編への理解を得られるよう協議していく。
									・行政の評価「3」の項目が多く、改善が必要である。	上記のとおり、統合再編案(実施時期を除く)を保護者や地域に説明していく段階であり、「検討協議会」を立ち上げていただく時期ではなかったため、評価を「3」(該当なし)としている項目がある。今後は、立上げに向け、対象地域に統合再編について説明し協議していく。
17	奈良市西部会館市民ホール(学園前ホール)の運営	文化振興課	指定管理	継続	39	29	68	B	・協働相手からの意見にある指摘は極めて重要なものであり、改善が必要である。	モニタリングについては、基本的に日常の業務報告や問題発生時の対応、事業報告書の確認、また学園前ホール実施事業の内、事前に設定したものに対する評価などを通して行なっております。その手法やフィードバックが盲く伝わっていないことが協働相手からの意見に含まれていると考えますので、今後はモニタリングについても実地確認を行ない、協働相手との十分な協議を図り、意見交換・共有、情報公開等に努めていきます。
									・協働相手から「1」や「2」の評価がなされていることは問題であり、今後は十分な意見交換や情報公開が必要である。	協働の定義である、互いの特性を尊重し認め合い、企画立案の過程から実施及び評価に至るまで、協議しながら共通の目的である公共的な課題の解決のため共に取り組むことをいうことを今一度踏まえ、上記同様に協働相手との十分な協議を図り、意見交換・共有、情報公開等に努めていきます。
									・行政の評価点と協働相手の評価点に大きな差がある項目について、改善が必要である。	評価点について大きな差が生じている点につきましては、協働相手方との協議が十分でなかったことと表れと考えており、上記同様に努めると共に、特に意思の共有について施設連絡会議の有効活用や現場訪問等により十分留意しながら意思疎通を図ってまいります。

第2次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画

奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会委員からの意見等への対応口

【平成29年度協働事業】

事業No.	事業名	H29年度担当課名	協働の形態	方向性	行政の評価点	協働相手の評価点	総合点	総合評価	審議会委員からの意見等	今後の取組方針等
25	奈良市子ども会議開催事業	子ども政策課	事業協力	継続	38	-	76	A	・協働相手の評価、意見を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	現在事業協力の手法による協働事業として区分しているが、本事業は子どもに関する施策等について子ども自身が意見表明し参加する場として開催する取組で、10歳から17歳の子どもたちが会議に参加し、自らの意見をまとめ市長に提出する事業であり、協働の原則による評価を行うことはその趣旨が異なるため難しい。今後は市民参画事業として事業評価をしていくことが適切と考える。
26	子育て親子の集える場の提供	子ども育成課	委託	継続	40	-	80	A	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	協働相手（委託先）は1つではなく、多数であるため全ての協働相手からの評価・意見をj得て、評価点を出すことが難しい。今後、複数の協働相手から評価の収集を行い、評価とする。
27	子育て支援アドバイザー事業	子ども育成課	委託	継続	38	-	76	A	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	協働相手（委託先）は1つではなく、多数であるため全ての協働相手からの評価・意見をj得て、評価点を出すことが難しい。今後、複数の協働相手から評価の収集を行い、評価とする。
28	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	委託	拡大	39	-	78	A	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	協働相手（委託先）は1つではなく、多数であるため全ての協働相手からの評価・意見をj得て、評価点を出すことが難しい。今後、複数の協働相手から評価の収集を行い、評価とする。
29	視覚障がい者向け広報等発行事業	障がい福祉課	補助・助成	継続	37	-	74	B	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	市と点訳・録音のボランティア団体が共通の目的のもと、協働で視覚障がい者向け広報誌等を毎月発行しており、利用者の利便に供していることが十分な評価に相当していると考えたため、今回協働相手から事業評価を得なかった。今後、団体との意見交換会等を通して、互いの認識を再確認するとともに、より一層力を合わせ活動していく。
31	認知症サポーター養成講座	福祉政策課	事業協力	継続	31	34	65	B	・評価項目「相互変革」（評価2）について、改善が必要である。	研修を終えたキャラバンメイトが認知症サポーター養成講座の講師役として活動の場をj広げ、さらにステップアップしていけるようフォローしていく。また、認知症地域支援推進員や地域包括支援センターと連携しながら、企業や学校などでの養成講座の開催を通じて、より多くの認知症サポーターを養成する。
37	食生活改善地区組織活動推進事業	健康増進課	委託	廃止	27	-	54	C	・協働相手の評価、意見を得られていない理由と対応を示してほしい。	協働の相手方となる奈良市食生活改善推進員協議会が平成30年3月末で解散され、協働相手から評価を得ることができなかったため。今後については、奈良市として食生活改善活動の手法を模索しているところである。
40	住まいの耐震化のすすめ	建築指導課	後援	継続	0	0	0	開催せず	・事業目的に関する広報活動が必要である。	平成24年度開催以来、実績がなく、また、今後の開催予定がないため、掲載しない方向で考えたい。
43	応急手当普及啓発活動事業	救急課	事業協力	継続	37	-	74	B	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	修了証等を発行しているため、協働相手の理解が得られていると考えていた。今後、適切な評価を得るためにアンケート方式等により、回答を得たい。
44	放置自転車ゼロ商店街計画	交通政策課	事業協力	継続	35	-	70	B	・協働相手の評価、意見を得られていない理由と対応を示してほしい。	放置自転車の移動計画は（社）奈良市商店街振興会を通じて各商店街に通知しておりますが、その後の啓発等はそれぞれの商店街と協働して行います。しかし、各商店街で放置台数等の実情が異なるため、実施している内容も商店街ごとに異なります。従って統一した評価回答を得ることは困難です。各商店街とは密に情報共有を行い、事業改善を図って参ります。
46	地域防犯活動推進事業	危機管理課	事業協力	継続	33	37	70	B	・評価項目「相互変革」「期限設定」（評価2）について、改善が必要である。	「相互変革」については、協働相手と連携を図りつつ、主体性を持って事業を遂行する。 「期限設定」については、達成目標などを明確にし、互いに前向きに又、緊張感を持って事業を遂行する。
47	奈良市地球温暖化対策地域協議会	環境政策課	実行委員会・協議会	継続	29	40	69	B	・行政の評価が低く、特に評価項目「相互補完」「相互変革」「期限設定」（評価2）について、改善が必要である。	事業企画する際にそれぞれの役割分担と期限について情報共有し、相互に得意分野を活かし、期限に間に合うよう進めていく。

第2次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画

奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会委員からの意見等への対応口

【平成29年度協働事業】

事業No.	事業名	H29年度担当課名	協働の形態	方向性	行政の評価点	協働相手の評価点	総合点	総合評価	審議会委員からの意見等	今後の取組方針等
49	アダプトプログラム推進事業 「さわやかクリーン奈良」	協働推進課	事業協力	継続	39	-	78	A	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	評価が得られるアンケートの実施ができなかったため。今後は実施予定のアンケートに評価できる項目を追加する。
50	佐保川清掃	まち美化推進課	事業協力	継続	40	-	80	A	・協働相手の評価、意見をもらえていない理由と対応を示してほしい。	次年度からは実行委員会に意見の聴取を行います。
									・自主的な参加者が減少している状況に対する対応が必要である。	浚渫等により佐保川がきれいになっていることもあり、参加者が減少している事自体を問題視する必要はないと考えています。本来の目的は達成されていると考えます。
56	違反広告物を出さない街づくり推進団体	景観課	事業協力	継続	42	-	84	A	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	協働相手の団体数が多数あり、評価を一括して表現できなかった。今後は、各団体にアンケート等で評価の対応をします。
58	グリーンサポート制度	協働推進課	事業協力	継続	40	-	80	A	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	評価が得られるアンケートの実施ができなかったため。今後は実施予定のアンケートに評価できる項目を追加する。
62	バサラ祭り開催事業	観光振興課	補助・助成	継続	40	40	80	A	・来訪者数の目標値と実績値の差異が懸念される。	記載の来場者数目標値は突出した数値であり、団体側では前年度実績等をふまえて次年度目標値を定めていることから、より目標とすべき適正な数値を精査して再設定する。
63	月ヶ瀬梅林周遊道路整備	道路建設課	事業協力	継続	23	41	64	B	・行政の評価が低く、特に評価項目「相互理解」「自主性尊重」「相互補完」「相互変革」「期限設定」（評価2）について、改善が必要である。	地元道路改修委員と事業細部まで意思の疎通を図り、委員を窓口として地元自治会・地権者に道路改修の重要性を認識してもらい事業の円滑化を図る。
									・H29の実績値0であり、行政・協働相手共に協働によって得られた効果「特になし。」となっている。改善が必要である。	それぞれの役割の認識を高める中で、責務遂行の重要性を再認識してもらい、協働による効果を向上させる。
65	奈良市ならまち格子の家の運営	奈良町にぎわい課	指定管理	継続	39	45	84	A	・入館者が減少していることへの対応が必要である。	外国人観光客に向け、SNSなどを利用した告知を行っていく。
66	奈良町からくりおもちゃ館の運営	奈良町にぎわい課	指定管理	継続	33	28	61	B	・相対的に評価が低いのはなぜか。	特定非営利活動法人からくりおもちゃ塾は、リピーターを増やしていく事が第一である。しかしながら、奈良市としては入館者数を増やすことに重点を置いてきたことによる意見の食い違いがあるため、今後は、この食い違いを埋めるべく更なる協働を行っていく。
									・協働相手の意見の内容から、協働による事業実施が上手くいっているのか疑問である。	意見の食い違いはあるものの事業実施は問題なく行っている。
									・入館者が減少していることへの対応が必要である。	外国人観光客に向け、SNSなどを利用した告知を行っていく。
67	旧鍋屋交番きたまち案内所	奈良町にぎわい課	委託	継続	38	40	78	A	・来訪者数の目標値は年々上げているが、実績値が減少しており、対応が必要である。	地元提案事業で行っている施設であるため、事業拡大には限界がある。目標数値の見直しを行う。
68	史跡・名勝をめぐるウェルカムサービス～知って奈良とびらガイド～	観光振興課	補助・助成	継続	36	36	72	B	・来訪者数が少ないことに対する対応が必要である。	現在、市民課等での転入手続き時にチラシを配布するほか、実施団体のホームページ上での告知を行っているが、より多くの方に制度を認知してもらえるよう、広報手法等を実施団体と協働中。

第2次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画

奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会委員からの意見等への対応口

【平成29年度協働事業】

事業No.	事業名	H29年度担当課名	協働の形態	方向性	行政の評価点	協働相手の評価点	総合点	総合評価	審議会委員からの意見等	今後の取組方針等
69	奈良市きたまち転害門観光案内所運営事業	奈良町にぎわい課	委託	継続	36	37	73	B	・来訪者数の目標値は年々上げているが、実績値が減少しており、対応が必要である。	地元提案事業で行っている施設であるため、事業拡大には限界がある。目標数値の見直しを行う。
78	HUG <sup>2</sup> （はぐはぐ）祭り	協働推進課	事業協力	継続	40	-	80	A	・協働相手の評価を得られていない理由と今後の対応を示してほしい。	評価が得られるアンケートの実施ができなかったため。今後はアンケートを実施する。

※協働相手の評価点が記入できない場合には、行政の評価点を2倍する方法で総合点を算出しています。

第2次奈良市市民参画及び協働によるまちづくり推進計画

奈良市市民参画及び協働によるまちづくり審議会委員からの意見等への対応口

【平成29年度市民参画事業】

事業 No.	事業名	H29年度担当課名	市民参画の手法	審議会委員からの意見等	今後の取組方針等
13	パブリックコメント	総務課	パブリックコメント	・多くの案件で意見の募集期間が短すぎる。募集期間の設定について検討すべきである。	奈良市パブリックコメント手続に関する指針の受付期間を周知し、今後は指針に基づいた運用が行われているか確認をする予定。